

2023年3月吉日

お取引先様 各位

段ボール印刷用インキ色の集約へのご協力をお願い

全国段ボール工業組合連合会
全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
印刷インキ工業会

平素は、段ボール産業に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在段ボール製造時に使用しているインキは、全国段ボール工業組合連合会、全日本紙器段ボール箱工業組合連合会、および印刷インキ工業会の3組織（以下、3組織）にて定めた標準色（18色）、補整色（32色）で運用され、一部の商品に限り特練色が使用されています。補整色と特練色が使用される背景には、段ボール箱の印刷デザインの複雑化、商品の差別化、及びブランドカラーや商品デザインの高再現性等があげられます。

段ボール箱の製造工程をみますと、版替の毎にインキ洗浄が行われ、さらに、不要となった標準色以外のインキが廃棄処分されるなど、環境負荷増（資源枯渇やCO2排出量削減の妨げ）の原因が常態化しており、持続可能な社会を実現する為には早急な見直しが必要と考え、3組織が業界枠を超えた改善活動に取り組み始めました。

段ボールはリサイクル可能な環境にやさしい資材ですが、サプライチェーンでの環境負荷軽減（Scope 3）には、段ボール製品を発注・消費するお取引先様との連携が不可欠です。上記状況を踏まえ、このたび段ボール産業として下記内容でインキ色の集約を進めてまいります。お取引先様におかれましては、環境負荷軽減の取組みに何卒事情ご賢察の上、格別なるご高配を賜りますよう切にお願い申し上げます。

記

1. 段ボール印刷用インキ色の集約

現在：標準色（18色）、補整色（32色）、特練色 → 集約後：**標準色（18色）**…《補足資料》参照

2. インキ色集約の時期

2024年4月1日（移行期間：**1年** 2023年4月1日～2024年3月31日）

以上

《補足資料》

1, 段ボールフレキシインキの年間使用量 (比率)

内容	2022年実績 比率
標準色(18色)	67%
補整色(32色)	9%
特練色	24%

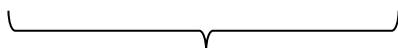


内容	2024年4月以降
標準色(18色)	100%

2, 標準色と補整色 (2023年1月現在)

標準色(18色)			
	品名		
1	D-010	ぼたん	
2	D-030	あか	
3	D-040	あか	
4	D-050	おれんじ	
5	D-060	おれんじ	
6	D-070	き	
7	D-090	くさ	
8	D-110	くさ	
9	D-130	あさぎ	
10	D-140	ぐんじょう	
11	D-160	あい	
12	D-170	こんあい	
13	D-180	こんあい	
14	D-200	むらさき	
15	D-220	ちゃ	
16	D-240	ちゃ	
17	D-250	しろ	
18	D-260	くろ	

補整色(32色)			
	品名		
1	D-011	ぼたん	
2	D-032	あか	
3	D-033	あか	
4	D-037	あか	
5	D-042	あか	
6	D-044	あか	
7	D-051	おれんじ	
8	D-062	おれんじ	
9	D-073	き	
10	D-091	くさ	
11	D-092	くさ	
12	D-093	くさ	
13	D-112	くさ	
14	D-113	くさ	
15	D-114	くさ	
16	D-131	あさぎ	
17	D-132	あさぎ	
18	D-133	あさぎ	
19	D-134	あさぎ	
20	D-135	あさぎ	
21	D-141	ぐんじょう	
22	D-142	ぐんじょう	
23	D-143	ぐんじょう	
24	D-161	あい	
25	D-162	あい	
26	D-181	こんあい	
27	D-202	むらさき	
28	D-203	むらさき	
29	D-241	ちゃ	
30	D-242	ちゃ	
31	D-271	ねずみ	
32	D-272	ねずみ	



2024年4月1日以降は標準色(18色)に集約